

第7回 市P連三行詩コンクール 佳作作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
★ 児童・生徒の部 小学生 ★				
佳作	うちは四人きょうだい。まい日ケンカばかり。 でも一人であそぶとつまらない。 やっぱり四人が一ばんいい。	南山田小	1	滝本沙羅
佳作	おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとう。 はなれているけどかぞくだね。 おつきさまみてるかな。	東汲沢小	1	大坪伊織
佳作	せんたくものは ママがいなくてもぜったいにとりこむよ そしたらママもよろこぶよ	南山田小	1	前田幹太
佳作	ほうれんそう たべられなかったおとうちゃん、 ぼくのためにむりやりたべた。 ありがとう。	東中田小	1	かたつむり
佳作	はなれていても パパおしごとがんばっている ありがとう	山田小	1	鈴木千博
佳作	ぼくのめはパパににてる ぼくの口はママににてる ぼくとおとうとはぜんぶにてる かぞだからでしょ。	永野小	1	興那霸綾人
佳作	ちっちゃくなったおじいちゃんおばあちゃん ぼくがおおきくなったんだ	折本小	1	小川稜太
佳作	るすばんで やさしいおねえちゃん ふしぎだな	東中田小	2	勝田夏帆
佳作	ごちそうさま。 からのおさら 広がるえがお。	東小	2	浅沼貴子
佳作	ぼくのはっぺたとままのほっぺたをくっつけて、 ほっぺたじゅうでん。 やる気パワーで今日も行ってきます。	二ツばし小	2	コタロウ
佳作	パパとママに、 まいにちしかられてばかりだけど、 あいされているってしってるよ。	戸塚小	2	しゅん
佳作	おとうさん 会社おやすみ ほんとはあそびたいけど ねかせとこ	小田小	2	みうみう
佳作	パパのつくったやさいはどれもおいしいまほうのやさい。 くらいでものこさずたべよう「いただきます。」	小田小	2	現王園かりん
佳作	わたしがわらうと みんながわらう。 広がるえがお つながるこころ。	東小	2	浅沼貴子
佳作	いただきます ありがとう つくったひとに かんしゃをこめて	新橋小	2	岡 媛依

第7回 市P連三行詩コンクール 佳作作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
佳作	だれかが笑うとみんな笑う だれかが泣くとみんな悲しい 家族の心はいつもいっしょ	川和東小	3	東心愛
佳作	70年前戦争で死にかけたひいじいちゃんの話 聞いた。がんばって生きてくれたから、 今ぼくがいるんだね。	南山田小	3	漆原羽琉
佳作	ママと私で作るごはん おいしくなあれと気持ちをこめて 家族みんなで楽しい食事	緑小	3	ひなちゃん
佳作	畑でね 真っ赤なトマト 光ってる 思わずパクリ 口の中	南山田小	3	河内日和
佳作	田舎の畑のお野菜は、 祖父母が作ったおくり物。 健康安全なごちそうだ。	笹野台小	4	保坂実知
佳作	みんなでね ごはんを食べると ほっかほか みんなの気持ちもほっかほか	下和泉小	4	本間春香
佳作	命はとても大切だ。 命は一つしかない。 だから私たちは一生懸命生きる。	桜岡小	4	山下美雨
佳作	きらいでも 命になるよ 野菜の芽	川上小	4	中根彩葉
佳作	大切に ごはん一つぶ のこさずに	下和泉小	4	堀江泰生
佳作	神さまに もらった命 たいせつに	下和泉小	4	安西隆智
佳作	いのちはね いちどしかない ものなんだ	下和泉小	4	森川晴菜
佳作	夕食で 今日の出来事 話し合い	笹野台小	4	北山ゆうの
佳作	天国の じいじにそと 見せたいな テストの結果 ほめられたいな	東希望が丘小	5	せな
佳作	家族にしか話せない事がある。 家族だけで話す内容がある。 だから私は羽ばたける。	茅ヶ崎台小	5	朝日 青蘭
佳作	ぐうぜんのように 私が選んで来たの それが私と家族の	品濃小	5	北原采佳
佳作	きずなだよ 晩ご飯 会話もごちそう おいしいね。	茅ヶ崎台小	5	石垣 博斗

第7回 市P連三行詩コンクール 入賞作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
佳作	この家の子で よかったと 感謝の気持ち こみあげた 小学最後の 修学旅行	鶴見小	6	三井朝陽
佳作	つらくても 絶対言わない 死ぬなんて	東中田小	6	柳下大地
佳作	「あのね 今日ね」 今日の出来事は今日話したい 我が家の家の団らんは家族の今日であふれている	東小	6	小泉麻衣
佳作	僕が笑えば、家族も笑う。 僕が悲しめば、家族も悲しむ。 家族はつながっている。	戸塚小	6	シモキチ兄さん
佳作	家に帰り ただいまおかえりの声 早く聞きたい言いたい その声で元気か分かる	東中田小	6	大沼凜花
佳作	私は大切な命をもらってる 肉や魚も大切な命 だからその分生きる 肉魚の命をせおって生きる	東山田小	6	佐々木葵
佳作	ひとりひとつの命 それぞれちがう命 この大切な命は 心でつながってる	永野小	6	柴垣 日菜恵
★ 児童・生徒の部 中学生 ★				
佳作	やる気ゼロ。弁当あけてひと呼吸。ポカポカ体あたたかい。 心もいっぱい満たされて午後の私は、絶好調！	中田中	1	川村采加
佳作	週に一度の水曜日 夕食後のトランプは 父が早く帰ってくる日の 楽しい家族の団欒	戸塚中	1	タルシ！
佳作	底抜けにいつも明るいお母さん、 あなたがいるから僕は頑張れます。	軽井沢中	2	金山晃大
佳作	お父さんが腕をふるう日曜日。 待ちくたびれておなかペコペコ。 だから何でもおいしいよ	旭北中	2	たけのこ
佳作	夕食時 今日の話題に 花が咲き 父母と祖父母の 輝く笑顔	鶴ヶ峯中	2	広瀬貴帆
佳作	日曜日、 家族皆で、夕食をとる。 それが我が家の大事なルール。	鶴ヶ峯中	3	吉田満里奈
佳作	貴方が食事を残すときに 食事をとれずに消える命を 考えることがあるだろうか	茅ヶ崎中	3	長谷川太一

第7回 市P連三行詩コンクール 入賞作品

賞	作品	学校名	学年	発表名
佳作	お弁当僕にとっては宝箱 開けるとときには笑顔がこぼれる。	鶴ヶ峯中	3	高橋麗
佳作	ひさしぶりの母の味 合宿でつかれきた体への 一番のごほうび	鶴ヶ峯中	3	クリボー
佳作	一人だけでは味わえない 素朴でやさしい温かさ それが家族の「食」	茅ヶ崎中	3	序章
佳作	うちの家の弁当の比率 栄養 1 愛情 9	鶴ヶ峯中	3	須藤未聖
佳作	簡単に人に死ねと言う人 命は皆平等なもの 生の終わりの言葉を簡単に言っははいけない	鶴ヶ峯中	3	村松ペタ子
★ 一般の部 ★				
佳作	「母ちゃんに似ているって言われた」と嬉しそうに言う娘 聞いた母はもっと嬉しい	汲沢小保護者		板橋千浪
佳作	昼寝する小さな我が息子を見てふと思う こんなにこんなに大きくなっていっただね 嬉しくもあり、寂しくもあり	間門小保護者		暁
佳作	姉と弟の背くらべ 膝をまげ「同じだね」と微笑む姉	汲沢小保護者		板橋千浪
佳作	弁当にいろんな思いギュッと詰め そっと見送る子の背中	豊田小保護者		上島美子
佳作	寝る前に 「今日も一日ありがとう。明日もよろしく。おやすみなさい。」 交す我が家の合い言葉。	浦島丘中保護者		小形麗子
佳作	子育て本、何冊読んでもわからない。 たどりつくのは目の前の、わが子を思う母心。 幸せ願って今日も祈る。	洋光台第一中保護者		ママごん
佳作	3人がけの ソファーに4人テレビ見る みなで笑えば心ほかほか	富岡中保護者		木谷貴子
佳作	盆休み孫の顔を見て若返り別れは、小さくなりにける	豊田小保護者		上島美子
佳作	写真を見て「…僕だけいない。」という息子 母さんのおなかの中にちゃんという。もう命は芽生えていた。	汲沢小保護者		板橋千浪
佳作	いってらっしゃい 給食おいしく食べて ママの手に無事に帰ってき てくれるだけで今日も100点	篠原小保護者		ラカトモフクのママ
佳作	「おかえり」この一言でホッとする。帰る場所、 待っている人がいるという安心感。だから毎日頑張れる。	茅ヶ崎中保護者		かなまる